

経営比較分析表（令和6年度決算）

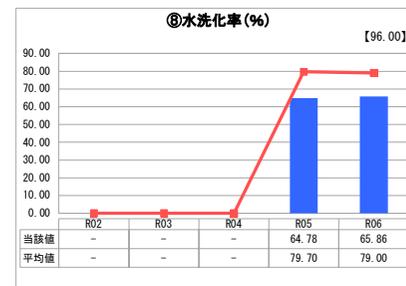
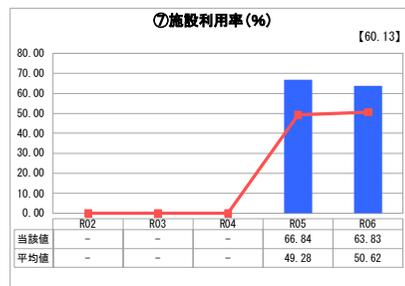
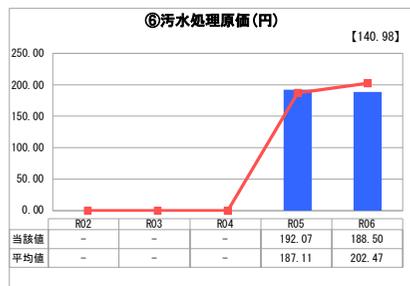
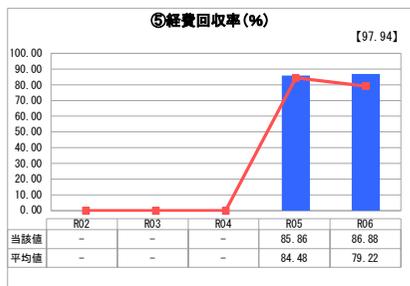
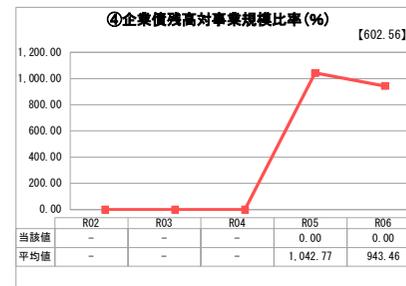
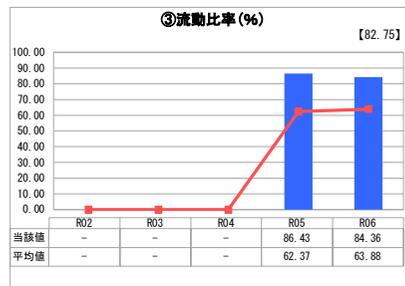
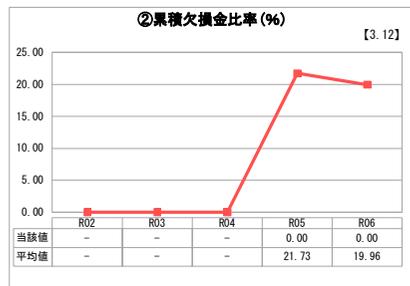
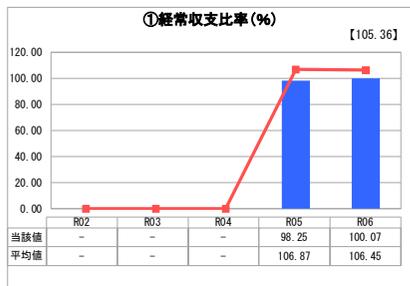
和歌山県 由良町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	42.96	72.81	105.89	3,520

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,035	30.93	162.79
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,615	1.32	2,738.64

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

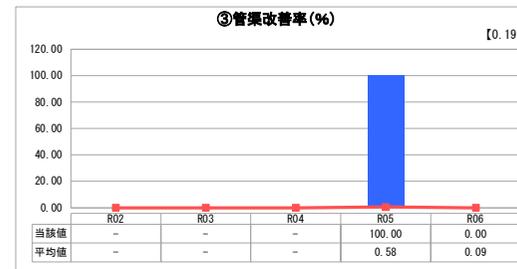
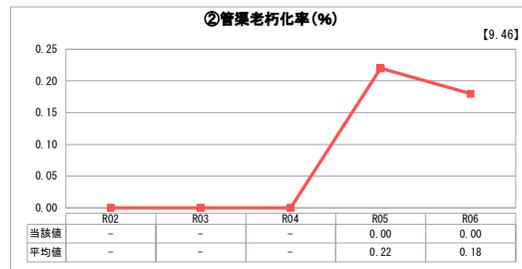
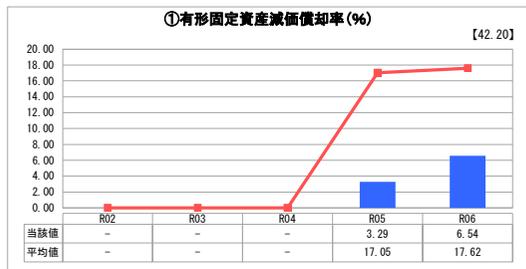
1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
類似団体平均値よりも下回っているものの、100%を超えており経常費用を経常収益で賄えている。
- ②累積欠損金比率
営業活動による累積した損失はない。
- ③流動比率
短期的な債務に対して支払う現金等がある。
- ④企業債残高対事業規模比率
全額一般会計からの繰入で賄っているため、0となっている。
- ⑤経費回収率
100%を下回っており十分に回収出来ていない。全国平均値より僅かに下回っている。
- ⑥汚水処理原価
昨年より原価が安くなっており、類似団体平均値よりも低い数値である。
- ⑦施設利用率
施設利用率は、類似団体と比較して高い。また、1日最大処理量にも対応でき問題はない。
- ⑧水洗化率
類似団体平均値よりも大きく下回っており、今後数値を高めていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

管路施設は整備開始後20年経過しているが、管路施設の耐用年数が50年であることから当大規模な更新は必要無い。

2. 老朽化の状況



全体総括

平成30年度末で特定環境保全公共下水道事業を当公共下水道事業に統合し、処理場に係る管理経費を削減した。今後も維持管理費の削減、供用を開始した地域において、下水道への接続推進を実施し料金収入の増を図り、経費回収率及び汚水処理原価の改善など効率化を図っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。